

「2025年の総括と2026年に向けて！」

2学期の始業式、あんなに暑かったのに、あっという間にこんなに寒くなりました。日本の四季というもののはつくづく不思議で素敵ですね。さて、そんな猛暑の始業式で私は、みなさんに「実り多い2学期に！」と話をしました。そのために、「2学期は行事に燃える！」「創造力と協働性の発揮！」「本気でやらなきゃ心は動かない！」と伝えました。みなさんの2学期は、実りが多かったですか？

<聞いてみる⇒多くの生徒が手を挙げるが手の挙がらなかった生徒もいる。>

私は、みなさんの学校行事の様子を見て、とても感動しました。心が動きました。生き生きと活動し、成長する姿がありまして。とある会合で開会の挨拶をされた地域の方も、学校の行事に参加したが、「生徒たちの姿に感動して涙が出た。」と言っておられ、大変うれしく思いました。

しかし、今聞いてみると、同じ時間を過ごしていても違いがあります。それは、なぜでしょうか？それは、みんなに「公平に与えられている時間をどう使ったか」に左右されるからです。どれだけ心を燃やして、本気で、自発的に、前向きに取り組んだのか？そして、どれくらい前から準備したのか？それによってみなさんの成果も自己評価も、やりがいも変わります。今一度、2学期を振り返り、特に悔しかった人は、その悔しさを心に刻み、それをバネにして次に「心を燃やす」ための燃料にしてほしいと思います。

成長を実感した人にも考えて欲しいことがあります。先ほど、意見発表でソフトテニス部の頑張りについて話がありました。全国5位の成績とそれまでの頑張りはとても素晴しかったですね。そこから視野を広げて考えてみましょう。全国には県チャンピオンになったチームが47、男子を入れれば94チームあります。野球、サッカー、陸上、水泳、バドミントン、ソフトボール等々、日本には、「心を燃やして」頑張っている生徒が、運動部で想像しただけでも、こんなにもたくさんいることを。また、吹奏楽、合唱部等の音楽関係、美術部、演劇、放送部等に目を向けると、さらにたくさんの中学生が「こころを燃やして」本気で物事に取り組んでいることを知ってほしいのです。そして、学習や学校行事、生徒会活動に目を向けるとさらに大勢が、高校生や小学生が。また、昨晚の全日本フィギア選手権のように、オリンピックを目指し、世界を舞台に心を燃やしている人もいます。

みなさんには、是非、この小さな「城端中学校」での頑張りや挑戦に日々取り組みながらも、もっともっと広い視野で日本全国の中学生や世界を舞台に頑張ろうとしている人たちの「熱い心、本気の挑戦」にも目を向け、「自分はどうに生きていか？」を考え、挑戦して欲しいのです。

さて、話は変わりますが、今年の流行語大賞は、女性初の我が国の内閣総理大臣に就任した高市総理の「働いて働いて働いて 働いて参ります。」でした。3年生はいよいよ自分の進路を考える大切な時期に入ります。後輩のみなさんは、3年生がどのように過ごしているかしっかり見届けてください。そして、自分たちの1年後、2年後の姿を想像し、自分たちは、今後、どのように学校生活を送るべきなのかを想像してください。3年生のみなさんは、後輩たちのあこがれの先輩となれるよう、後ろ姿で努力している姿を見せてあげてください。まさに、「勉強して勉強して勉強して勉強して、勉強して参ります。」そんな気概でこの冬休みを過ごしてください。

ところで・・・ お正月には、初詣に出かけるという方はどれくらいいますか？

<聞いてみた結果ほぼ全員が手を挙げる。>

初詣というのは、お願い事をしに行くのが一番の目的ではありません。まず、2025年、健やかに過ごせたことをそれぞれが信じる場所で報告し、まずは、感謝の言葉を述べる事が大切です。そして、2026年も健やかに過ごせるように、また、自分が頑張りたいことを報告し、うまくいくように決意表明をすることが大切です。全く努力もせず、結果だけ求めるような図々しい人はいないとはおもいますが、そのような「感謝の気持ちと決意を畏敬の念」を持ち、支えてくれている「ご家族に感謝を忘れることなく」2025年を振り返り、2026年、令和8年のスタートを切ってください。そんな有意義な冬休みを過ごし、一回り成長したみなさんと7日の始業式に会うことを楽しみにし、2学期終業式の式辞とします。